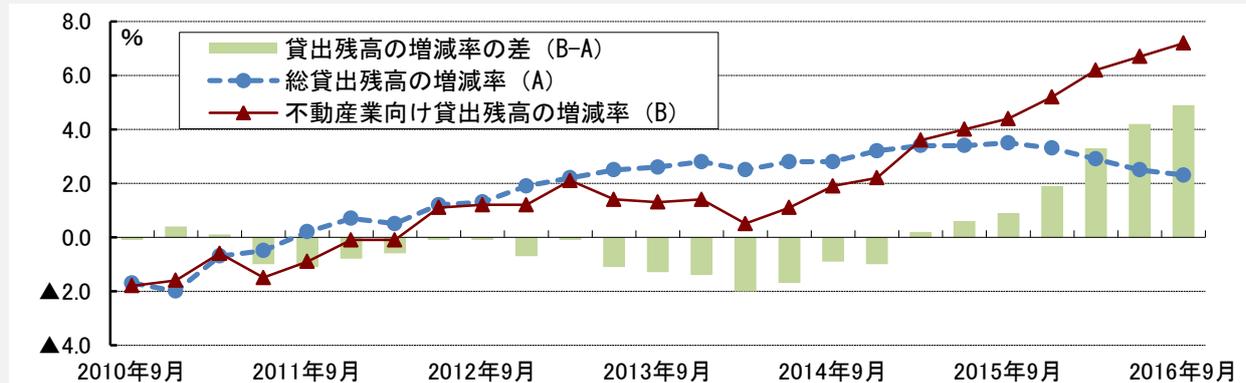


土地・不動産に関するトピックス情報

● 国内銀行による不動産業向け融資残高が拡大

日本銀行が11月17日に公表した「貸出先別貸出金」によると国内銀行による不動産業向け貸出残高は前年同期比7.2%増の69兆6698億円に達した。総貸出残高も2011年9月以降対前年でプラスとなっているが、このところ不動産業向け貸出残高の伸びは、それを大幅に上回っている。低金利政策の影響で、不動産関連企業による借り入れが活発化している。



[貸出先別貸出金：日本銀行](#)

● 2016年1～9月首都圏マンション価格の平均値5,663万円・中央値5,080万円

不動産経済研究所は、首都圏1都3県および近畿圏2府4県における新築分譲マンションの戸当たり価格および専有面積の中央値の集計結果を公表した。2016年1～9月の平均価格は5,663万円、中央値は5,080万円、平均面積は69.99㎡、中央値は70.96㎡となった。

[不動産経済 マンションデータ・ニュース：不動産経済研究所](#)

● 2016年の上場企業による不動産取得は4年ぶりの前年割れへ

東京商工リサーチが発表した「2016年1-10月「上場企業の不動産取得」調査」によると、国内不動産の取得、工場・社屋の新設などを公表した上場企業は43社であり、このペースで推移すると年間(1-12月)では前年の56社を下回り、4年ぶりに前年割れになる見通しが強まった。その要因については、円高やデフレ脱却の遅れなど、景気の先行き不透明感の広がり背景下、投資マインドの様子見傾向を反映したものと分析している。

[2016年1-10月「上場企業の不動産取得」調査：東京商工リサーチ](#)

● 2016年の首都圏マンションの収益力は過去最低に

東京カンテイは10月31日、「マンションPER 2016」を公表した。2016年の首都圏の新築マンション収益力を示すPERは28.66と02年の調査開始以来、最も低い水準となった。

マンションの平均賃料(70㎡換算)は対前年で5.3%上昇の月額175,551円となったが、マンションの平均価格(70㎡換算)は対前年比10.3%上昇の5,998万円と賃料の上昇幅を上回った。

[マンションPER 2016：東京カンテイ](#)